



【テーマ聖句】

「得られないのは、願い求めないからで、願い求めても、与えられないのは、自分の楽しみのために使おうと、間違った動機で願い求めるからです」（ヤコブの手紙 4 章 2 節下句、3 節）

2021 年 1 月 9 日(土)

可能性を心に描く

あなたの教会で、誰かがリバイバルメッセージを語ったと想像してみてください。最後のアピールがなされ、説教者が聴衆に向かって、イエスを受け入れるように招きます。誰も応じないかもしれません。あるいは数人が応じるかもしれませんし、多くの人が応じるかもしれません。神は人間に自由意志をお与えになったので、他人の招きにどのように応じるかを、誰であっても自分の手柄にすることはできません。しかし多くの人が神のメッセージを受け入れ、実際にリバイバルが起きるとき — 説教を聞いて、個人的な聖書研究によって、友情伝道によって、あるいは神が用意されたサプライズによって・・・いずれにしても、私たちの証しが明らかに人々の心を勝ち取ったように見えるのです。しかしこの種の働きは、すべて聖霊の賜物です。私たちは数歩後ろへさがり、驚きをもって神が行われた奇跡を見るだけです。

クリスチャン生活の模範にまったく効果がないと言っているのではありません。教会のプログラムや、地域奉仕の計画がすべて無駄だという意味ではないのです。主は、私たちの真摯な努力を恵みによって大きく祝福してくださいました。しかし、もし私たちが聖霊の完全な注ぎを受け取ったとしたら、私たちの経験はどれほど大きなものになっていたことでしょうか？ 神だけがその可能性をご存じなのです。偉大な説教者、ヘンリー・ブラッカビーは次のように言いました。

「神は彼に献身した人々と共に働いて、神なしで 60 年かけて築き上げた以上の成果を、たった 6 ヶ月で成し遂げることができるでしょう。」（『神を経験する』[英文改訂版] 108 ページ）

リバイバルのために祈ることはとても大切なことですが、私たちはそこに留まってははいけません。私は、個人的リバイバルを実際に経験するのに必要なステップに、あなたをお招きしたいと思います。神の祝福とともに、あなたの生活はこれまでになかったほど力強く、充実したものとなるのです。あなたの家も教会も、新しい命を経験することができるのです。

何が欠けているのか？

最初に質問しましょう。私たちの問題の中心とは何でしょうか？ それは、霊的な問題ですか？ 私たちのなまぬるいクリスチャン経験の基礎に横たわっているのは、聖霊の欠如でしょうか？ もし答えが「はい」なら、なぜ私たちの生活には聖霊が欠けているのでしょうか？

聖書の答えがここに記されています。

「得られないのは、願い求めないからで、願い求めても、与えられないのは、自分の楽しみのために使おうと、間違った動機で（「肉の思いに従って」ローマの信徒への手紙 8 章 5～7 節を参照）願い求めるからです。」（ヤコブの手紙 4 章 2 節下句、3 節）

第 1 日目の読み物で学んだように、神は私たちが、聖霊を求め続けるように招いておられます。「これこそ、われわれが力を受ける手段なのだから、み霊の賜物を飢えかわくように求めようではないか。それについて語り、そのために祈り、そのことについて説教しようではないか。」（『患難から栄光へ』上巻 46 ページ）

ヤコブはまた、「間違っ」て求めるときに、私たちは聖霊を受け取ることができない、と提言しています。おそらく彼は、私たちの心が「肉に属すること」で一杯になっているときに、神は私たちが祝福することができないと知っていたのです。パウロは次のように説明しています。「肉の思いは死であり、霊の思いは命と平和であります。」（ローマの信徒への手紙 8 章 5、6 節）

では、パウロの言う「肉の思い」とは何でしょうか？

神との個人的な関係について、聖書は 3 つのグループに分別しています。もちろんこれらの種類の中でも、親のしつけや性格、訓練度、年齢、文化、受けた教育の違いなどによって千差万別のかたちがあります。しかしどれだけ違いがあったとしても、神への基本的な態度はたった 3 つしか存在しません。

＊関係がない — 聖書はこれを「**生まれながらの人**」と呼んでいます

＊満たされた真実の関係 — 聖書はこれを「**霊的な人**」と呼んでいます

＊分裂した偽りの関係 — 聖書はこれを「**肉的な人**」と呼んでいます

これらの 3 つのグループは、コリントの信徒への手紙 1・2 章 14～16 節と 3 章 1～4 節に描写されています。ほんの少しだけポイントを解説するならば、生まれながらの人は世俗的な生活をしています。また、教会の中にいる 2 つのグループについて見てみると、問題がどこに隠れているのかが見えてきます。重要なことは、あなたがどのグループに属しているかということです。以下に続く説明が、きっと自己分析の助けになるでしょう。これは自分を分析するのであって、決して他人の生活についてとやかく言うためのものではありません。あなたはいったいどのグループに属しているのでしょうか？

生まれながらの人：「生まれながらの人（自然の人）は神の霊に属する事柄を受け入れません。その人にとって、それは愚かなことであって理解できないのです。霊によって初めて判断できるからです。」（コリント人への第一の手紙 2 章 14 節）

霊的な人：完全に、真の神との関係を持っています。私たちが霊的であるというとき、「わたしたちはキリストの思い（*霊）を持っている。」（コリント人への第一の手紙 2 章 16 節 口語訳 *括弧内は著者の訳によるもの）

肉的な人：神との間に分裂した、見せかけの関係を持っています。「兄弟たちよ。わたしはあなたがたには、霊の人に対するように話すことができず、むしろ、肉に属する者、すなわち、キリストにある幼な子に話すように話した。」（コリント人への第一の手紙 3 章 1 節 口語訳）

第 5 日目で、霊的なクリスチャンと肉的なクリスチャンの違いについて扱います。

【神の御言葉によって祈る】

聖霊が私たちの思いを導きます

「肉に従って歩む者は、肉に属することを考え、霊に従って歩む者は、霊に属することを考えます。」（ローマの信徒への手紙 8 章 5 節）

主よ、私たちは、自分が肉の影響下にあるか、聖霊の影響下にあるかを知っています。どうか、私たちを霊的なクリスチャンに造りあげて、霊に属する思いで私たちの心を満たしてください。

私たちは、もはや情欲の言いなりにはなりません

「わたしは命じる、御霊によって歩きなさい。そうすれば、決して肉の欲を満たすことはない。」（ガラテヤ人への手紙 5 章 16 節 口語訳）

主よ、聖霊が私たちの生活で働いて、罪の力を滅ぼしてくださることを感謝します。私たちの心の中で御霊の実を成長させてください。あなたの素晴らしい約束を感謝します。

聖霊は、私たちが有罪宣告から解放してくださいます

「こういうわけで、今やキリスト・イエスにある者は罪に定められることがない。なぜなら、キリスト・イエスにあるいのちの御霊の法則は、罪と死との法則からあなたを解放したからである」
(ローマ人への手紙 8 章 1、2 節 口語訳)。

主よ、私たちが聖霊に委ねて生きるとき、罪の呪縛から救ってくださるとの約束を知っていることは、なんと素晴らしい祝福でしょうか。キリストが私たちを不要な罪悪感から救ってくださり、私たちを罪と死から解放してくださったことに心から感謝をささげます。
喜んで主に従う者に聖霊は与えられるのです。

【更なる祈りの提案】

感謝と讃美： 具体的な祝福を感謝し、神の憐れみのゆえに讃美をささげましょう。

告白： 個人的な告白のために時間を取り、神の赦しのゆえに感謝をささげましょう。

願い： 私のチャレンジと決心のために、神様が知恵を与えてくださるように祈りましょう。

教会のために： 私たちの教会、地域の教会、世界中の教会の働きを神様が祝福してくださるように祈りましょう。

人々の必要のために： 教会員、家族、隣人の必要のために祈りましょう。

静かに耳を傾け、

応答しましょう： 神のみ声を聞くために静かな時間を過ごし、讃美と歌で応答しましょう。